



発行日 令和6年5月発行 第114号
発行元 社会医療法人 昴和会 内山病院 編集委員会
連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地
TEL:0996-73-1551
FAX:0996-73-4636
Homepage <http://www.uchimt.com/>
E-mail uchimt@uchimt.com



巻頭言・・・P1～P2
部署紹介・・・P2～P3
委員会活動・・・P4
診療一口メモ・・・P2
行事・・・P3
編集後記・・・P4

巻 頭 言

院長 古郷 修一郎

2024年4月1日付けで先代院長である父 古郷 米次郎の後任として、内山病院 病院長を拝命いたしました古郷 修一郎です。超高齢化社会を迎え医療情勢もめまぐるしく変化してきている中で、院長就任という重責を託されたことに身の引き締まる思いがしております。病院長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は阿久根市の出身で、鹿児島大学 泌尿器科の人事で鹿児島県内の関連病院で働き、2018年から4年間を出水郡医師会広域医療センターに泌尿器科部長として勤務しておりました。泌尿器科医としての仕事はもちろんですが、広域医療センターは阿久根・長島地区における二次救急医療機関の中心ですので、多くの救急患者の診察にもあたらせていただきました。ここでの経験が非常に勉強になり、北薩地域の医療現状を理解することができました。

2022年からは当院に副院長として赴任し、泌尿器科医兼内科医として従事しております。私の専門とする泌尿器科は手術を行う外科的な要素と、透析を中心とした全身管理を行うことができる内科的な要素も包含した科であります。当院を受診される患者さんは、内科疾患に対して処方を行う方達だけではなく、ちょっとした観血的

な外科的処置を要する方達も多くいらっしゃいます。内科的知識と外科的手技の両方を要求される場面に遭遇すると、泌尿器科医として学び経験してきたことが役立ち泌尿器科医になって良かった、と一人でほくそ笑んでおります。

当院はこの阿久根の地で100年以上にわたり、北薩地域の皆様に信頼される医療機関となるべく医療活動を行ってまいりました。現在、北薩地域の高齢化率は全国平均より高く、人口自体も減少傾向にあります。医療を必要とされる方、医療需要は、今後もあまり変化がないと思われまふ。当院に託された医療機関としての社会的使命というものはより大きなものとなってきていると感じております。そのような状況の中、限られた資源、設備、人員で、地域住民へ安全で良質な医療を提供していくには、病院として柔軟に対応していかななくてはなりません。そのためには、病院内の多職種がそれぞれの立場を尊重し合い



ながら連携するチーム医療を行っていく必要があると考えます。私は職員というのはまさに病院の宝であると考えております。患者さんに満足して頂くためには、職員にとっても働きやすく充実した職場でなくてはなりません。各々が相互の信頼関係のもと笑顔でのびのびと意見を出し合い、個々の力を思う存分に伸ばせるような環境を作ることが私の役割であると考えております。内山病院で働くことに誇りをもった職員一人一人の力が、患者さんを助けることにつながっていくのだと信じています。

これからも地域の皆様から信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指し、職員一丸となってともに頑張っていく所存です。これまで当院に頂きました多大なるご厚情に感謝いたしますとともに、これからの内山病院にどうぞご期待下さいますよう、お願い申し上げます。

診療一口メモ

子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種(1997年4月2日～2007年4月1日生まれの方)について

古郷 有佳子

ヒトパピローマウイルス(HPV)は女性であれば50%以上の人が生涯で一度は感染するといわれている一般的なウイルスです。感染してもほとんどの人はウイルスは自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。子宮頸がんのほとんどがこのHPVの感染によることがわかっています。

そのため日本では小学6年生から高校一年生の女の子を対象に、子宮頸がんの原因となるHPVの感染を防ぐワクチン(HPVワクチン)の接種を提供しています。対象者は公費により接種を受けることができます。2023年4月からシルガードというさらに効果の高くなる9価のワクチンも公費で接種可能となっています。

2013年から2021年にはHPVワクチン接種を個別にお勧めする取り組みが差し控えられていたことから、1997年4月2日～2007年4月1日生まれで、過去にHPVワクチン接種を合計3回受けていない方は、ワクチン接種の機会を提供しています。(キャッチアップ接種)。2025年3月までは、公費で受ける事ができます。ワクチンは自費であれば1回30000円程度します。対象者の方は是非早めに接種することをお勧めします。

なお、HPVワクチンは2-3回接種(ワクチン、年齢によりにより接種のスケジュールが違います)です。効果の高い9価ワクチンのシルガードは、9歳以上15歳未満であれば合計2回の接種とすることができます。回数が少なくすむので、15歳未満までに接種するのもいいかもしれません。

私のまわりの産婦人科医は、知る限り全員、娘さんにはHPVワクチンを接種させています。私も対象年齢になったら娘には接種させる予定です。皆さんにもぜひ接種を検討していただけたら嬉しいです。

部署紹介

回生苑 通所 リハビリテーション

回生苑の通所リハビリテーションは、女性11名、リハスタッフが3名所属しています。去年の5月より、内山デイケアと合併し90名近くの利用者様にご利用されています。ご自宅で生活しておられる要介護者の方にリハビリ、レクリエーション、食事や入浴を支援しつつ個人に合ったサービスを提供しています。合併により、利用者様やご家族の不安もあり一日一日を安心、安全に過ごせるように寄り添える回生苑通所リハビリテーションでありたいと思います。リハビリにも意欲的に励まれる姿や通うことが楽しみで待ち遠しいと言った声が聴かれるようになりました。レクリエーションでは、四季折々の装飾を楽しまれると共に4月には、苑内の桜の花を見

る等の季節の移り変わりを楽しまれています。今後も一人一人の意思を尊重することで生きがいを見つける手助けを精一杯にスタッフ一同支援していく所存です。

行事紹介

ひなまつり

入院中でも季節・行事を感じていただけるよう、毎年3月3日のお昼はひなまつりに合わせたメニューにしています。人気のちらし寿司やお雛さまをモチーフにした和菓子を取り入れ、ひなまつりや春らしい彩りにしました。今年度も入院患者様においしく喜んでいただける食事を提供できるよう、栄養課一同努めていきます。



ちらし寿司・すまし汁・魚の幽庵焼き
酢の物・お菓子

委員会活動

福利厚生委員会(編集部門)

地域医療連携室 油木 翔子

編集委員会の活動内容は年4回院内新聞「早蕨」の発行やホームページの更新などです。職員の皆さんには原稿提供や制作にご協力をいただき、感謝しています。ホームページは、外来診療の案内を毎週更新しています。その他、随時必要な情報発信を行っております。

院内新聞「早蕨」は診療一口メモや行事紹介等多岐にわたる内容を掲載しています。ここ数年はコロナ禍の影響もあり筋トレメニューやレシピ紹介等に限定されておりましたが、5類以降に伴い少しずつ行事が再開したので季節の行事を今後掲載していく予定です。

これからも皆様へ役に立つ情報をお届けする事ができるように心がけていきたいと思っております。法人内の各施設や事業所、外来待合室に配置しておりますので、役に立ったと思われた際は周りの方へ勧めていただけたらと思います。

個人情報保護法により、早蕨掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

桜の花が咲き誇り春の訪れと共に新年度を迎え昂和会も新たなスタートとなります。新入職員も入職され皆様とともに協力しながら盛り上げていけたらと思います。今回、早蕨の原稿に協力くださいました皆様に感謝申し上げます。